



余市町図書館

図書館だより

3

2026



余市町図書館
〒046-0011 余市町入舟町413番地
☎0135-22-6141

2026年は、アガサ・クリスティー没後50年

精緻なプロットと鮮やかな結末で、ミステリーというジャンルを世界に広めた作家、アガサ・クリスティー。本コーナーでは、初刊時タイトル『セヴンのダイヤル』を新訳・改題した「セヴン・ダイヤルズ」をご紹介します。

B933ク



『セヴン・ダイヤルズ』アガサ・クリスティー著

何十年を経ても色あせることなく、今なお読者を驚かせるアガサ・クリスティーの冒険ミステリー。鉄鋼王に貸していたチムニーズ館で、滞在中の青年が睡眠薬の過剰摂取により死亡する。館の主人の娘で行動力あふれるバンドルは、その死に疑問を抱き、自ら調査を始めるが、ほどなくして同じ館に滞在していた別の青年が銃殺されるという新たな事件が発生する。被害者が残した「セヴン・ダイヤルズ」という謎の言葉は何を意味するのか。『チムニーズ館の秘密』の4年後に起きた事件。バトル警視シリーズ第二弾。おてんばで大胆なバンドルの果敢な行動と、バトル警視の静かな推理が交差し、物語は読者の予想を裏切る結末へと反転していきます。軽快なテンポと意外性に富んだ展開が魅力の一冊。その衝撃的な結末とは……。既読の方へ。この新訳は、必読です。

時代小説と江戸の料理⑨



『花散らしの雨：みをつくし料理帖』高田郁 著 BF夕

落 (ふき)

『花散らしの雨』みをつくし料理帖には、春の雨が桜を散らす情景に重なるように、旬の落を使つた料理が登場します。物語の舞台、元飯田町に新しく暖簾を掲げた「つる家」では、滯が下足番として「ふき」という少女を雇い入れます。早くに両親を亡くしたふきの境遇に、自身を重ね、滯は次第に信頼を寄せていきました。ところが同じ頃、神田須田町の登龍楼で、滯が考案したはずの料理が「つる家」よりも先に出されていることが判明します。偶然と思おうとしながらも不安は募り、やがて滯は、ふきの不審な行動を目にします。問い詰めるのではなく、自ら過ちをやめる勇氣を持つてほしい。その願いを込めて作つたのが、「ほろにが落ご飯」と「落の葉とじゃこの炒め煮」でした。油揚げなどを使わず、落そのものの香りとほろ苦さを生かした落ご飯。落の葉とじゃこを炒め煮にした一皿は、春の滋味を静かに伝えます。素朴な料理に託された滯の思いが、胸にしみるストーリーです。

■ 芥川賞

- ・ 鳥山まこと『時の家』講談社 Fト
- ・ 畠山丑雄『叫び』新潮社 Fハ

■ 直木賞

- ・ 嶋津輝『カフェーの帰り道』東京創元社 Fシ

第174回 芥川賞・直木賞 受賞作決定！



1月～2月の
主な文学賞

当館でも受賞作品を取り揃えております。話題の作品をこの機会にぜひお手にとってみてください。貸出中の場合は、ご予約も承っております。お気軽にカウンターまでお声がけください。

これ読んだ？図書館員 おすすめ！の本

罪と祈り

誰からも実直で真面目と思われていた元警察官の父親の死。幼馴染みの警察官が捜査にあたり、息子も残されていた古い資料を調べていくうちに、未解決誘拐事件にお互いの父親の関わりの疑念が生まれ、葛藤を抱きつつ未解決事件の解明と父親の死の真相にせまっていきます。



貫井徳郎
実業之日本社
Fヌ

乱歩と千畝：RAMPOとSEMPO

怪人二十面相の作者である江戸川乱歩。ユダヤ人を救うため、ビザを発給した外交官、杉原千畝。この二人が物語の中で友人となり、お話が進みます。その時代背景も描かれているので、想像をしながら読んでみてください。



青柳 碧人
新潮社
Fア

ネコシェフと海辺のお店

人生に悩み思い詰めてしまった人たちが迷い込む、海辺が舞台のお店。饒舌で料理上手なネコシェフがふるまうのは、とびきり美味しい海の幸を使ったごはん。じんわり温かい気持ちになれる物語です。海辺で料理をふるまっているネコシェフを想像しながら読みました。内容も優しくほっこり癒されます。



標野 凧
KADOKAWA
BFシ

南極観測の土産として持ち帰られた氷に、現代には存在しないはずの殺人バクテリアが潜んでいた。原因不明の連続突然死事件を追う探偵・前沢恵子は、かつて新興宗教団体が起きた出来事との不気味な共通点に気づく。物理学者・露木と共に、謎の古文書「ヴォイニッチ・マニユスクリプト」と事件の関係に迫る一方、東京近郊では次々と命が奪われていく。植物をテーマに人類進化の謎へと踏み込む物語は、ミステリから壮大な宇宙的スケールへと展開。「リング」シリーズとは異なる切り口で描かれる、鈴木光司ならではの一冊です。



鈴木光司
KADOKAWA
Fス



Best
Reader10

貸出しベスト10

※ 貸出しベスト10は、2月3日時点の集計です。

- | | | | | | |
|---|-------------------|--|---|--------------------|--|
| 1 | 総理にされた男 | | 4 | アラート | |
| | 中山七里 NHK出版 Fナ | | | 真山 仁 新潮社 Fマ | |
| 2 | 或る女 | | 4 | 逃亡刑事 | |
| | 有島 武郎 新潮社 BFア*オ | | | 中山七里 PHP研究所 BFナ | |
| 2 | エンドロール | | 4 | 春よ来い | |
| | 今野 敏 実業之日本社 Fコ | | | 藤原 緋沙子 幻冬舎 Fフ | |
| 4 | パズルと天気 | | 4 | ひきこもり家族 | |
| | 伊坂 幸太郎 PHP研究所 Fイ | | | 染井 為人 光文社 Fソ | |
| 4 | 災疫の季節 | | 4 | マル暴ディーヴァ | |
| | 中山七里 角川春樹事務所 Fナ | | | 今野 敏 実業之日本社 Fコ | |

新着図書は他にも多数あります。どうぞ図書館にご来館ください。



新着図書

- ・ 月白 宇佐美 まこと 朝日新聞出版 Fウ

妻を亡くし、幼い息子を育てるフリーライターの海老原は、雑誌の企画で戦後の混乱期に5人の男性を殺害した実在の殺人鬼・北川フサの事件を再検証することになります。取材を進める中で、フサが逃亡中に連れていた「赤の他人の少年」が存命であることを突き止めた海老原は、事件の凄惨な記憶を掘り起こすうちに、彼女が抱えていた強烈な感情や闇に抗い難い魅力を感じ、自らの人生や苦悩までもが浮き彫りになっていく没入型のミステリーです。



- ・ おまあ推理帖 諸田 玲子 文藝春秋 Fモ
- ・ みずいらず 染井 為人 祥伝社 Fソ
- ・ お稲荷さまの謎解き帖 朝水 想 双葉社 FA
- ・ 拝み屋のおばあちゃんと僕 五十嵐 大 双葉社 FI
- ・ 普天を我が手に 第3部 奥田 英朗 講談社 FO
- ・ この恋だけは推理らない 谷 夏読 東京創元社 FT
- ・ 叫び 畠山 丑雄 新潮社 FH
- ・ 分裂蜂起 佐々木 譲 集英社 FS
- ・ 殺し屋がレジにいる 榎田 ユウリ 講談社 FE

主人公は、職場でのカスハラや家庭内での軽視に耐える日々を送っていた52歳の主婦・榎冴子。ある日、レジで迷惑客を鮮やかに撃退した72歳の現役殺し屋・山田グロリアと出会います。この出会いを機に、冴子が強靱な肉体と精神を身につけ、自らの人生を切り拓いていく姿を描いた痛快な物語です。



- ・ 分水 (隠蔽捜査11) 今野 敏 新潮社 FC
- 鎌倉で大物政治家宅の不審火が発生。社会派ユーチューバーを追う竜崎だが、周囲の「忬度」が捜査を阻む。殺人事件へ発展する中、サイバー捜査官と共に独自の信念を貫けるか。シリーズ20周年、新潮社が贈る第11弾です。



- ・ わたしたちの図書館旅団 ジャネット・スケスリン・チャールズ 東京創元社 B933チ
- 第一次世界大戦下のフランス。ニューヨーク公共図書館の司書ジェシーは、戦火で荒廃した村に子どもたちのための図書館を築く任務に就きます。過酷な状況下で本力を信じ、移動図書館などで希望を繋ごうとした女性たちの勇気ある闘いを描く。実在の司書をモデルにした、感動の歴史フィクションです。著者ジャネット・スケスリン・チャールズは、前作『あの図書館の彼女たち』のリサーチ中に、ナチスに立ち向かった司書ドロシー・リーダーを通じてジェシーの存在を知りました。10年近い歳月をかけて執筆された本作では、移動図書館の原点についての史実が鮮やかに描かれています。



- ・ 最後の皇帝と謎解きを 犬丸 幸平 宝島社 FI
- 1920年の中国、北京の紫禁城を舞台に、日本人絵師・一条剛は廢帝・溥儀の「水墨画の師」として雇われます。その真の目的は、城内の名画を贋作とすり替え、清朝復興の資金を作る密命を遂行することでした。密室で起きた使用人の不審死や、描き加えられた「龍の目」など、城内で次々と発生する不可解な事件。一条は少年皇帝・溥儀と共にこれらの謎に挑む中で、立場や国境を超えた友情を育んでいきます。



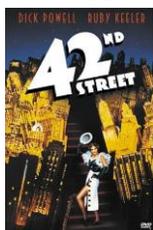
- ・ 黒猫とショコラトリーの名探偵 高里 椎奈 KADOKAWA BFタ
- ・ 歌人探偵定家 羽生 飛鳥 東京創元社 BFハ
- ・ ストーンサークルの殺人 M.W.クレイヴン 早川書房 B933ク
- ・ 石原家の兄弟 石原 伸晃 新潮社 288イ
- ・ おい点P、動くんじゃねえ! とけ丸まわり 晶文社 410ト
- ・ 人を助ける英語1000 和久 健司 ジャパンタイムズ出版 834ワ

Thursday
木曜
不映画会
Watching the movie!

5日
四十二番街

監督：ロイド・ベーコン
主演：ビービー・ダニエルズ 他

100分



80年以上も前にブロードウェイ・ミュージカルの裏側を描いた歴史的傑作。圧巻の舞台シーンは200人のラインダンスと大群舞の連続。ミュージカル映画の傑作。

19日
ツイスター

監督：ヤン・デ・ボン
出演：ヘレン・ハント 他

113分



幼い頃、巨大竜巻を受けて父親を亡くした科学者・ジョーは、竜巻発生のメカニズムを解明する仕事に明け暮れていた。竜巻到来のシーズンを迎えたオクラホマに到着した彼女は、別居中の夫・ビルと合流し、衝突を繰り返しながらも巨大竜巻に挑んでいく。

本のひろば
よみきかせ会

公民館サークル「本のひろば」さんによる絵本の読み聞かせをします。自由参加です。

- 毎週水曜日 10:30~11:00
- 図書館1階 おはなしコーナー
- 3月4、11、18、25日開催



余市町図書館カレンダー



1	2	3	4	5	6	7
	休館日		本のひろば よみきかせ会	木曜映画会		子ども えいげ会
8	休館日	10	本のひろば よみきかせ会	12 木曜映画会	13	14 おはなし会
15	休館日	17	本のひろば よみきかせ会	19 木曜映画会	20	21 子ども えいげ会
22	休館日	24	本のひろば よみきかせ会	26 木曜映画会	27	28 おはなし会
29	休館日	31 休館日				

邦画と洋画を交互に上映します。
毎週木曜日 14時から
2階 視聴覚室 無料
皆様のご来館をお待ちしています。

12日
おとうと

監督：市川崑 出演：岸恵子 他

98分



大正時代の東京・向島。げんと碧郎の姉弟は、作家の父と継母のもとで暮らしている。げんは病気の継母の分まで碧郎の世話を焼くが、碧郎は不良仲間とつるむように。時にかばいあい、時に大喧嘩をしながら共に生きる姉弟だったが、碧郎は結核に倒れてしまう。

26日

Love Letter

監督：岩井俊二 出演：中山美穂 他

113分



神戸に住む渡辺博子は、亡き婚約者・藤井樹への手紙が、彼と同姓同名の女性に届いたことから、不思議な文通を始めます。この映画は、男女二人の「藤井樹」と渡辺博子の、過去と現在が交錯する純粋で切ないラブストーリーを描いています。

図書館おはなし会

楽しい読み聞かせと絵本の紹介をします。自由参加です。毎月第2、第4土曜日開催。

- 3月のおはなし会、さよならとこんにちはの季節。絵本の世界で、やさしい春のはじまりをいっしょに感じてみませんか？
- 3月14日、28日(土) 11:00~
- 図書館1階 おはなしコーナー



今月の図書館ニュース

図書館の展示ケースを利用してみませんか？

余市町図書館では、町民の皆さま（個人）に無料でご利用いただける展示ケースをご用意しています。手芸作品をはじめ、創作物やコレクションなどの発表の場としてご活用ください。「これは展示できるかな？」と迷われた場合も、どうぞお気軽にお問い合わせください。

問い合わせ：余市町図書館 0135-22-6141

